

戦時中 スパイ容疑で北大生、米人教師逮捕

本道在住の事件関係者から証言を集めるビデオブレスのスタッフら



宮沢 弘幸さん

戦時中、根室にあった海軍飛行場の情報などを外国人に漏らしたとして、北大生や北大の米人教師がスパイ容疑で逮捕された「レーン・宮沢事件」に焦点を当てた記録ビデオづくりが、東京の自主ビデオ製作会社の手を進められている。事件の舞台となった本道での取材を今月中旬から開始、アメリカロケもこなし、完成は十二月の予定。製作スタッフは「歴史的な強圧事件を風化させないよう、事実を丁寧に掘り起こしたい」と意気込んでいる。

レーン・
宮沢事件

風化防げとビデオ製作

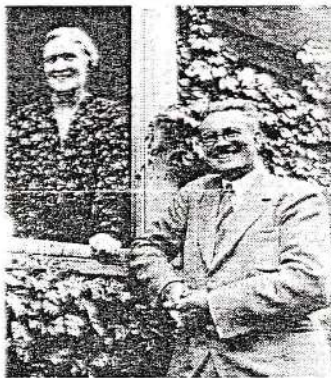
製作を手掛けるのは、映倫士会が、戦時中のでっ像メディアを市民運動や社会運動の発展に役立てよう目。いま、終戦から半世紀と、一九八九年に設立された「ビデオブレス」社(松原明代表。これまで従軍慰安婦問題や国鉄分割・民営化、尾崎ソルゲ事件などの判断からキリスト教関係に

弾圧の怖さ詳細に

東京の費用は市民カンパで

年内完成

硬派のテーマを扱ってき者らの支援を受け、同社がた。製作に乗り出すことにした。「レーン・宮沢事件」にた。つては、かねてから札幌の故・岸本羊一牧師や札幌は今年十五日から約一週間



北大予科教師時代、札幌での暮らしを満喫していたレーンさんと妻のポリンさん

九月にはレーンさんの遺族や宮沢さんの実妹などが一さん(名)は「当時の時代背景を十分頭に入れながら、なぜ宮沢さんやレーンさんがスパイに仕立てられたか、宮沢さんはどういう力によって引き裂かれてい

レーン・宮沢事件 太平 当時、リンダバーク大佐(昭和十八年)十二月八日、北大工学部三年の宮沢弘幸さんと、北大予科の英語教師ハロルド・レーンさん、妻のポリンさんの三人が軍機保護法違反などの疑いで逮捕され、それぞれ懲役十二年から十五年の刑を受けた事件。

く過程を映像を通して浮かび上がらせたい。この事件を知る道内の関係者にはぜひ協力してほしい」と呼びかけている。

総製作費は約四百万円、すべて二〇五坪の市民カンパで賄う。連絡、問い合わせは東京都町田市中町三ノ二、カトリック町田教会内、ビデオ「レーン・宮沢事件」制作委員会 0427・22・0360へ。カンパのあて先は郵便振替(口座番号・東京11568419)